平成25年9月の出来事

10月号 2013年10月11日発行
発行元：グループホーム 花
旭川市春光台2条6丁目1番11号

お問い合わせ
TEL (0166)51-8787 FAX (0166)51-1187
E-MAIL info@gh-hana.com URL http://gh-hana.com

藤高生との交流会（9月3・10・17日）

今年も旭川藤女子高等学校の１年生の皆さんが、花のおじいさんおばあさんとの交流を求めて訪ねてきました。この交流会は、早いもので今年で５年目となりました。入居者様も毎年来るセーラー服を着た女学生に慣れてきて、自己紹介やちょっとしたゲームを一緒に行うと、すぐに打ち解けてリビングが楽しい雰囲気に変わっていきます。風船ゲームや早口言葉を一緒にしたり、質問カードを選んで「最近笑ったことはなんですか？」「樺太って知ってますか？」などたくさん生徒さんに話しかけています。おやつの時は会話を楽しまれ、高校生から「おいくつですか？ボーイフレンドはいたんですか？」と質問され「何歳だと思う。９９！こんな私でも拾ってくれる人いたのアハハハ…」など、楽しそうに話され、男性は「若い女の子が隣に居ると、やっぱり顔も違うだろう！」と笑い、カメラを向けると高校生に「一緒に取るぞ」と言って喜ばれていました。どの方も若い子と話すととてもパワーを貰えるようです。生徒さんが帰る時には、玄関や窓際まで行き「また来てねー」と気持ちよく見送られていました。

お誕生日おめでとうございます

９月２０日 [redacted] さん

９４歳のお誕生日

この日は眠気が強く誕生日の紹介や歌をうたい進行しましたが起きられず、後ほどお部屋でプレゼントと色紙を渡すと「あぁーそうなんだ、そんなになったんだ、いやー有難い、大事にします」と喜んで受け取って頂きました。その後スタッフが居室をのぞくと「ありがとう ありがとう・・・」と何回も何回も言われてプレゼントを見せていました。

ラーメン（9月5・7・8日）

入居者様は、人によっては新聞や広告を見ながら世界情勢などは横目に、常に安いお得商品をさがして献立や食材を選ぶことがよくあります。毎年二回ラーメンを安く食べることができる折り込み広告があり、入居者様は見逃さずに「ラーメン３８０円、行こう！美味しいラーメンを食べたい！」としっかり施設長に交渉しています。五日間安売り期間があるので３回に分けて車で行ってきました。車の中でも「ラーメンだけは家では作れない、おいしいラーメンは無理だよ！」と言い、皆さんとても楽しみに向かっております。店に入ると味噌、醤油、塩など、好きな味のラーメンを頼み、「これ食べたことないね・・」と五目ラーメンを頼まれる方、「ラーメンは好きじゃない！蕎麦がいい！」と卵とじあんかけ蕎麦を頼む人など好きなものを注文しています。もちろん皆さん「うまいなー」と舌鼓を打っていました。

十五夜（9月19日）

満月は毎月訪れますが、９月の満月は昔から『中秋の名月』と呼ばれ、風情を感じさせるものです。花でもススキを飾り、皆さんでカボチャの団子を作り雰囲気を盛り上げています。午後から職員が紙芝居『食べられた山姥』を行い「紙芝居なんて懐かしいねー」と言いながら真剣に見ていました。またうたを歌ったりしながら楽しく時間を過ごし、おやつはカボチャ団子を食べております。入居者様は、イモやカボチャなどの穀物類が好きなので「これ美味しいなー」言われ好評でした。毎年十五夜は、曇ったり雨が降ったりと、お月様を見ることができずにいましたが、この日の夜空は、数年ぶりに晴れ渡り、素敵なお月見日和となっております。

緑の森ガーデンのお祭り（9月22日）

春に白樺樹液まつりがあった公園に希望者を募り遊びに行ってまいりました。森の中の会場には、いくつもの店が並び、食べ物やグッズなどが売っています。つまみ程度のお菓子を買い、プロの紙芝居を見ながら秋の清々しい雰囲気をみなさんで味わってきました。「気持ちいいねー」と、肌寒い日でしたがみなさん元気です。子供たちもたくさんいたので入居者様も目を細めて「あれ、何かやってますよ！かわいい子だこと！」としぐさを見られて話されていました。この日はちょっとした憩いの時間が作れたようです。

敬老会（9月14日）

今年も入居者様のご長寿を祝し敬老会を行いました。普段何気なく過ごしてるリビングが紅白幕で包まれると皆さんさすがに緊張しております。式典では一人ずつ名前を呼び、普段のさりげない生活での活躍ぶりや人生の功績をご紹介して、皆さんの前に出て頂き施設長より記念品をお渡ししてお祝いさせていただきました。施設長から記念品をもらうと涙を流される方、普段転倒しそうな人も歩行が安定してシャキッと背筋が伸びいつもと違う姿を見せる方、「よくわかんないの」言っていても施設長の前に出ると深々と丁寧に頭を下げ「ありがとうございます」とお礼を言われる方など、とても素敵な緊張感が流れていました。終了後「長生きししとるといいことあるねー」「長生きはこれからやー」「あっという間だったね、また来年だね！」と言われていました。

収穫祭（9月14日）

入居者様家族様との苗植えから始まった畑も、ひと夏十分楽しませていただきました。この感謝の気持ちと秋の味覚を楽しむために収穫祭を行いました。メニューは、カボチャやジャガイモのホイル焼き、焼きトウキビ、焼き鳥、イカ焼き、メインは施設長が釣った鮭を使いチャンチャン焼きです。入居者様も「よかったよ～鮭大きいのとれたんだね～！」「今年も楽しましてもらった（畑）」「おいしいものばっか食べて長生きせんとね」「こんなの…どうもありがとう」と家族との団らんも含めとても嬉しそうです。

ちなみに施設長の鮭の釣果は５匹でした。

施設長コラム

10月５日『みんなで考える認知症事例発表北海道大会』を開催しました。旭川市内をはじめ道内各地から５００人のみなさんが訪れ、発表ではグループホームにおける認知症ケアや地域とのかかわりを紹介しております。なんとか無事大会が終了してホッとしているところです。その時にレビー小体型認知症の発見者でもある小阪憲司先生をお招きして基調講演をして頂きました。懇親会などもあり、いろいろお話しさせていただいたのですが、世界的にも有名ですし、横浜大学の名誉教授や開業医でもある先生ですが、お話をしながら感じたことは、話をする人と同じ目線で話されていることがとても印象的でした。ご講演を頂いた時も認知症のことを話す時も世間話をされる時も、話される姿勢が伝わってきます。クリニックで認知症の患者さんを初診で見るときは、最低でも２時間以上かけてみていこと、週に一度認知症の家族会の皆さんと話をされていること、グループホームに隣接しているクリニックであることを言われていました。どの話も実践することは大変なことと思いますので、この点でも驚きでした。自分も認知症になったらこのような先生に見ていただきたいと感じたほどでした。